

# 山河に学ぶ

飯田市直千代小学校

Tel : 0265-59-2102 Fax : 0265-59-2374 E-mail:chiyosc@ed.iidanet.jp

## 各学年の行事

10月は、各学年の社会見学などの行事が順調に実施されています。

10月5日(水)には3年生の飯田めぐり、翌6日(木)には4年生の長野社会見学、13日(木)には5年生の社会見学が行われました。

**3年生**は、飯田市内を巡る社会見学です。今年は、お菓子工場の「シアワセドーナ」、松岡屋醸造所(味噌、醤油)、山清りんご園の3カ所を見学しました。お菓子がベルトコンベアで流れてくる様子やできたて醤油の味見にわくわくしたようです。りんご園ではりんごをもぐ作業もさせていただき、もいだりんごはお土産としていただきました。



**4年生**は、3年ぶりに長野市へ行き、善光寺と県庁、県立美術館(ジブリ展)を見学してきました。善光寺のお戒壇めぐり、仲見世での買い物、宿坊での精進料理など、初めての体験がたくさんありました。県庁では、災害対策本部室と県警察本部の通信指令課の見学をしました。バスの中での学習・交流レクタイムも初めての経験でしたが、とても楽しそうでした。



**5年生**は、下伊那地域の工業について見識を深めてきました。エフプラス(自動車部品工場)、なかひら農園ジュース工場、りんごの森(ジャムづくり体験)、宮内産業(皮革製品)で、私たちの生活とのつながりや、地域産業の発展に尽力している様子などを学ぶことができました。お昼は清流苑でボリュームたっぷりのソースカツ丼をおいしくいただきました。



社会見学や修学旅行は、千代、千栄、上久堅の3小学校が合同で行っている行事です。3校合同で実施する目的は、やがて中学校で一緒になる子どもたちが、小学校のうちから交流を深め、顔馴染みになっておくということが大きな目的です。6年生になる頃には、互いの名前や顔をだいたい覚えます。オンライン交流や授業でも、他校の児童の名前がすぐに出てくる場面を目にします。また、3校の子どもたちは、普段は少人数なので、きちんと並ばなくても人数確認ができるし、集合にも時間がかかりません。しかし、大人数になると並ぶことや時間に遅れないように行動することが大事になります。ゆったりとした生活に慣れている子どもたちなので、大きな集団になったときの行動を学ぶことができるこのような機会はとても大切です。どの学年も、はじめはお互いに緊張気味ですが、一日が終わる頃には一つの学級のように打ち解ける姿が見られるのもいいなあと思います。

## 地域を知る授業

2学期の「地域を知る授業」は、8月31日に岡本養豚の岡本佳世さんから『千代幻豚』について、10月18日に荻坪の篠田孝雄さんから、ご自身の生き方から小学生に伝えたいこととお話していただきました。

### ～ 千代幻豚 ～ 岡本佳世さん（岡本養豚）



『千代幻豚』の開発者である父・睦身さんから「豚のことは豚に教われ」と指導され、今日まで千代幻豚を絶やさないう頑張ってきたことや、生まれてから出荷するまで210日かかることなどを、写真を交えながら教えていただきました。お肉にするための豚は、ペットとは違うこと、人間は、豚や野菜などあらゆる命を「いただいている」こ



となど、食べ物の大切さを教えていただくのと同時に、「ご飯をしっかりと食べることが免疫力を高める。美味しく食べて丈夫な体を作ってほしい。」と、食べることの大切さも教えていただきました。

### ～ 小さなことでも、好きなこと見つけ、続ける ～ 篠田孝雄さん

現在88歳（米寿）になられる篠田孝雄さんは、高校卒業時、恩師に「どんなことでもいいから続けることが大事」と教わり、「農家は天気が大事だから、毎日の天気を記録してみよう」と農家簿記に天気を記録し始め、現在に至るまで69年間、天気と気温を記録し続けているそうです。長く続けていることで、統計からわかることがいろいろあるそうです。また、小学5年生の時に書いた書き初めを、担任の先生がとても誉めてくれたことで、字を書くことが好きになったことなど、どんな小さなことでも、好きなことを見つ、続けることの素晴らしさを教えていただきました。



## 授業参観・交流会 10月18日(火)

久しぶりの参観日は、祖父母の皆さんにもたくさんご来校いただきました。昇降口では「3年生のやお屋」が開店し、売れ行きは上々だったようです。交流会では、まず1・2年生が『太鼓』の演奏をしました。今年もトカラ太鼓の市瀬ゆかりさんにご指導いただき、三宅島に伝わる「三宅」という曲を演奏しました。木遣りも入り、伝統的な太鼓の力強さが表現できていました。次に3年生が、人形劇「もかとあんずの大ぼうけん」を発表しました。1年生の時から飼っているハムスターの実際のエピソードを題材にしたオリジナルシナリオです。人形劇団の「むすび座」さんから今年も指導を受け、人形の動きや台詞の言い方、小道具の使い方がとても上達しました。各学年代表児童によるメッセージも祖父母の皆さんや家族への思いが詰まっており、とても心の温まるものでした。

